

## 診療情報を利用した臨床研究について

虎の門病院脳神経血管内治療科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものです。この研究では、亡くなられた方の診療情報も、貴重な情報として、研究対象として扱わせていただきます。この案内をお読みになり、ご自身やご家族等がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「ご自身やご家族等の診療情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。

### 【対象となる方】

調査対象となる期間：2013年04月01日～2023年03月31日の間に、脳動静脈奇形、脳動静脈瘻 のために虎の門病院脳神経血管内治療科、脳神経外科に入院・通院し、脳血管造影検査 を受けられた方

### 【研究課題名】

Transdural blood supply を有する脳動静脈奇形の臨床症状、血管構築、治療成績の検討：多施設共同研究

### 【研究の目的・背景】

#### 《目的》

本研究では、硬膜・硬膜外血管からの供血（Transdural blood supply: TDBS）を伴う脳動静脈奇形（Arteriovenous Malformation: AVM）について多施設の症例を集積し、その特徴と脳血管内治療およびその他の治療の成績を明確にします。これにより、TDBS を伴わない例も含めた全 AVM に対する治療が安全かつ有効に行われることに寄与すると考えます。

#### 《研究に至る背景》

AVMは脳の中で異常な動脈と静脈が毛細血管を介さず直接つながり、ナイダスと呼ばれる異常な血管塊もみられる血管の奇形です。この異常血管は破裂しやすく、破裂すると脳内出血やくも膜下出血を起こし重篤な状態に陥ることがあります。また、未破裂の場合でも、無症状のこともあります。けいれんや頭痛を生じる原因となることがあります。AVMは通常、脳内の血管である内頸動脈と椎骨脳底動脈系より供血されますが、一部では、Transdural blood supply を伴う場合があります。AVMに対する治療法は外科的切除術、脳血管内治療による塞栓術、放射線治療、保存的治療があります。TDBS を伴う AVM の場合、その血管構築の複雑さから治療が困難で合併症の頻度が高いとの報告があり、脳血管内治療の果たす役割が大きいと推測されます。しかし、詳細に検討した報告・データは少ないです。

【研究のために診療情報を解析研究する期間】

2023年9月25日 ～ 2026年4月30日

【単独／共同研究の別】

多施設共同研究

【個人情報の取り扱い】

お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえて研究します。学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。

また、本研究に関わる記録・資料は 近畿大学 医学部脳神経外科・脳卒中センター 准教授 佐藤徹 のもと研究終了後 10 年間保管いたします。保管期間終了後、本研究に関わる記録・資料は個人が特定できない形で廃棄します。

【診療情報を虎の門病院外へ提供する場合】

診療情報は虎の門病院で特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえたうえで、 研究事務局の近畿大学医学部脳神経外科講座 へ CD の郵送 で提供いたします。

【利用する診療情報】

診療情報：1) 患者基本情報：年齢、性別、症状、診断名、2) 治療内容、治療結果、  
3) MRI 画像検査結果、4) CT 画像検査結果、5) 脳血管撮影検査結果。

【研究代表者】

熊本大学生命科学研究部画像診断解析学講座 清末一路

【虎の門病院における研究責任者】

脳神経血管内治療科 鶴田 和太郎

【利用する者の範囲】

聖路加国際病院神経血管内治療科部長 新見康成（画像・臨床情報提供、判定委員）  
筑波大学脳神経外科脳卒中予防・治療学講座教授 松丸祐司（画像・臨床情報提供、判定委員）

岡山大学病院脳神経外科助教 平松匡文（画像・臨床情報提供、判定委員）

東海大学脳神経外科助教 重松秀明（画像・臨床情報提供、判定委員）

国立循環器病研究センター脳神経外科医長 今村博敏（画像・臨床情報提供、判定委員）

藤田医科大学脳卒中科教授 中原一郎（画像・臨床情報提供、判定委員）

久留米大学放射線医学講座講師 田上秀一（画像・臨床情報提供、判定委員）

昭大学藤が丘病院脳神経外科教授 津本智幸 (画像・臨床情報提供、判定委員)  
虎の門病院脳神経血管内治療科部長 鶴田和太郎 (画像・臨床情報提供、判定委員)  
小倉記念病院脳神経外科部長 波多野武人 (画像・臨床情報提供、判定委員)  
広南病院血管内脳神経外科部長 坂田洋之 (画像・臨床情報提供、判定委員)  
永富脳神経外科病院放射線科部長 堀 雄三 (画像・臨床情報提供、判定委員)  
京都大学脳神経外科准教授 石井 暁 (画像・臨床情報提供、判定委員)  
富山大学脳神経外科講師 秋岡直樹 (画像・臨床情報提供、判定委員)  
神戸中央市民病院脳神経外科部長 太田剛史 (画像・臨床情報提供、判定委員)  
新潟大学脳神経外科講師 長谷川仁 (画像・臨床情報提供、判定委員)  
大阪大学医学部脳神経外科特任助教 尾崎友彦 (画像・臨床情報提供、判定委員)  
トロント大学放射線科教授 Timo Krings (画像・臨床情報提供、判定委員)

※判定委員とは、共同研究施設から集積された画像データから Trandural blood supply(TDBS)の詳細について、複数人で検討する役割である

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】

本研究の対象者のうち希望される方は、個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが、研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

【ご質問がある場合及び診療情報の使用を希望しない場合】

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、またはご自身やご家族等の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記相談窓口までご連絡ください。また、ご自身やご家族等の診療情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2024年04月01日までの間に下記の相談窓口までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様には不利益が生じることはありません。

【相談窓口】

虎の門病院 脳神経血管内治療科 磯崎 潤  
電話 03-3588-1111(代表)